

COP10 開催記念 植樹祭

樹種：マメナシ

日時：2010年 2月19日

場所：南山中学校校庭

タネ採取木：水南小学校校庭に自生する東側の木。

2003年春発芽苗2本と2006年春発芽苗1本

参加者：南山中学校生徒 マメナシ観察会

マメナシ <離弁花類バラ科> 全国：絶滅危惧ⅠA類 別名イヌナシ

名古屋市東部から瀬戸市にかけての尾張丘陵の山間に、自生地が点在している。かつてはその東限が東松山町から進陶町にまで及んでいた。しかし、都市化が進むにつれてその自生地も消滅し、現在は水南小学校を中心に7本が水南連区に、2008年7月陶原小学校に1本の合計8本が瀬戸市では確認されている。

平成16年2月 水南小学校校庭にある1本が瀬戸市の天然記念物に指定されました。

本州中部のきわめて狭い地域に分布が限られており(愛知県, 三重県), 遠く中国大陸中南部, 朝鮮半島中部, ベトナム北部に分布する。日本が中国大陸とつながっていたころの名残を示すもの。

瀬戸市史参考



マメナシの花

「東海丘陵要素植物群」といわれる15種類の植物たち

マメナシ (市指定天然記念物)

ヒトツバタゴ

クロミノニシゴリ

モンゴリナラ

シデコブシ、ハナノキ、ヘビノボラズ、ナガボナツハゼ

ナガバノイシモチソウ、トウカイコモウセンゴケ、ヒメミミカキグサ、

ミカワバイケイソウ、シラタマホシクサ、ウンヌケ